

今回の「こんにちは!あかちゃん」では、大森山動物園で今年生まれた赤ちゃんを紹介します。

今年もニホンザルが8頭、シロフクロウが12羽誕生しました。

こんにちは!

あかちゃん



トナカイ

6月14日に誕生、名前は元気。2年ぶりの繁殖です。産まれてすぐは弱々しく、上手に母乳が飲めなかったため、介添えて飲ませたり粉ミルクを飲ませたりしました。1週間ほどすると、体重測定で暴れて抱きかかえられないほど順調に成長し、8月にはお母さんと一緒に塩曳潟で水泳デビューもしました。



レッサーパンダ

7月13日に双子が生まれました。大森山動物園では3年ぶりの繁殖です。3年前に生まれたゆりがお母さんになりました。初めての出産にもかかわらず、上手に子育てしています。順調に行けば、10月中に親子で展示場にデビューします。お楽しみに!

この他、アカカンガルー2頭、ワオキツネザル2頭、コモンマーモセット、シバヤギ2頭、モルモット、フンボルトペンギン、ヨーロッパフラミンゴ、コクチョウ4羽、ヒナドリ3羽の赤ちゃんが元気に育っています。

げんきでね!

大森山を後にした動物たち



昨年7月に生まれたシロフクロウのヒナは、盛岡市動物公園、多摩動物公園、大宮公園小動物園、いしかわ動物園に旅立ちました。

この他、フンボルトペンギンが長野市城山動物園へ、チョウゲンボウが盛岡市動物公園へ、シバヤギのメス3頭が市川市動植物園へ、マーコールのオスが狭山市立智光山公園こども動物園に旅立っています。



4月21日、チンパンジーのココが沖縄こどもの国へ、繁殖を目的にした動物の貸出で引越しました。雪のない沖縄でのんびり過ごしてほしいものです。

訃報

忘れないよ...

ライオン

ラガー/オス(17歳)

4月18日死亡

ラガーは2009年4月23日に10歳で大森山動物園にきました。ハンサムではありませんでしたが、歴戦の勇士のような威厳がありました。パートナーであるメスのマンゴーとの相性もよく、お腹に響く咆哮や迫力のある姿などで人気がありました。



チンパンジー

のり子/メス(推定38歳)

5月11日死亡

のり子は1981年12月12日に来園しました。他のチンパンジーとは異なり、夏でも寒そうに両肩を抱くように歩くその姿から、往年の「ブルースの女王」にちなみ、のり子と命名されました(実は淡谷という名字付きです)。イケメンが大好きで、乙女チックなのり子はとても人間臭く、飼育担当者を始め、多くの人に愛されました。

ヨロシクね!

仲間入りした動物たち



アムールトラ

3月17日にロシアのノボシビルスク動物園からヒロシのお嫁さんとしてやって来たカサンドラです。詳しくは6~7ページの「特集~アムールトラの導入~」をご覧ください。



シフゾウ

シフゾウは8年ぶりの展示です。熊本市動植物園からサリーがやって来ました。比較的高齢な個体なので、長旅による疲れが心配でしたが、元気に輸送箱から出てきました。ちなみにサリーは以前大森山にいたマリーの妹です。



ライオン

6月30日に群馬サファリパークからオスのローアが、多摩動物公園からメスのトモが仲間入りしました。群れで暮らすライオンです。早く一緒にいたいところですが...飼育担当者の苦勞は9ページの「飼育レポート」をご覧ください。



マーコール

4月27日に狭山市立智光山公園こども動物園との交換でメスのさくらがやって来ました。最初は新しい場所になかなか慣れることができず、物陰に隠れていることが多かったのですが、今ではすっかり群れにとけ込んでいます。

ノドジロオマキサル

7月15日に日本モンキーセンターからノドジロオマキザルのパリスがやって来ました。繁殖を目的にお借りしたものです。大森山のノドジロオマキザルは10頭の大家族です。新しいお嫁さんが早く家族の一員になれるように皆さん見守ってください。

マーコール

キキ/メス(9歳)

5月29日死亡

大森山で生まれたキキは群の中では立派なお母さんでした。今年もお腹が大きくなり、かわいい赤ちゃんが産まれるのを楽しみにしていましたが、とても残念です。

この他にもワライカワセミ、モモイロペリカン、フンボルトペンギン、ミーアキャット、エミューなどが亡くなりました。

飼育動物数 2016年6月末現在

哺乳類	52種	342点
鳥類	36種	190点
爬虫類	11種	28点
両生類	2種	4点
魚類	3種	18点
無脊椎	1種	16点
合計	105種	598点